

# 公立河北中央病院経営強化プラン

## 実施状況の点検・評価

(令和 6 年度)

令和 7 年 9 月

## 目 次

|                               |    |
|-------------------------------|----|
| 1. 公立河北中央病院経営強化プランの目標・視点      | 2  |
| 2. 実施状況の点検・評価                 |    |
| (1) 役割・機能の最適化と連携の強化           | 2  |
| (2) 医師・看護師等の確保と働き方改革          | 4  |
| (3) 経営形態の見直し                  | 5  |
| (4) 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取り組み | 6  |
| (5) 施設・設備の最適化                 | 7  |
| (6) 経営の効率化等                   | 9  |
| 3. 総評                         | 13 |

# 公立河北中央病院経営強化プランの実施状況の点検・評価

## 1. 公立河北中央病院経営強化プランの目標・視点

公立河北中央病院経営強化プラン（以下「経営強化プラン」という）では、更なる経営健全化を進めるとともに、地域密着型の病院として持続可能な医療提供体制を確保し、安全で質の高い医療を提供するために、6つの取り組みを策定しました。

### ■経営強化プラン（令和6年3月策定）における6つの取り組み

- ・役割・機能の最適化と連携の強化
- ・医師・看護師等の確保と働き方改革
- ・経営形態の見直し
- ・新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取り組み
- ・施設・設備の最適化
- ・経営の効率化等

## 2. 実施状況の点検・評価

### (1) 役割・機能の最適化と連携の強化

公立河北中央病院は、地域医療構想調整会議（令和5年1月）において「地域包括ケアシステムの中核として、質の高い医療・介護・生活支援を提供することにより、切れ目のない地域完結型医療を担う」ことが求められており、これまでに策定した改革プラン・新改革プランに基づいて地域における役割・機能を見直し、様々な取り組みを行って来ました。

具体的には、地域における医療・介護サービスの質の向上を目標とした各種セミナーや症例検討会、かかりつけ医との共同診療、地域住民を対象とした健康教室の開催などを積極的に行っています。

また、在宅分野における取り組みを充実させるための機能強化型在宅療養支援病院の基準維持や看取り医療の推進、在宅で看護を続けている家族等を支援するためのレスパイト入院の取り組みなど、地域包括ケア病床として求められている取り組みも経営強化プランに沿って展開しています。

具体的取り組みの個別の評価については、以下の通りです。

#### ■評価基準

評価の方法は、「取組は計画どおり進捗（実施）しているか」の視点で、「A」～「C」の3段階で評価します。

| 評価 | 達成度区分 | 評価の考え方   |
|----|-------|--|
| A  | 実施中   | 取組は概ね良好で計画通り実施している。取組内容の効率化や手段に見直し等を行い、継続している。 |
| B  | 一部実施中 | 取組は実施できているが、取組の一部が遅れている、または取組の一部が未実施である。       |
| C  | 未実施   | 取組の計画策定中、または計画は完了したが取組が実施段階には至っていない。           |

#### ■取組事項の点検・評価

| 具体的な取組事項  | 評価 |
|---|----|
| ①地域包括ケアシステムの中心的役割を担うため、地域連携の会や症例カンファレンス、連携セミナー等の継続的展開 | A  |

|  |   |
|--|---|
| ②開放型病床を活用した地域のかかりつけ医との共同診療を通じ、顔の見える連携関係の強化                         | A |
| ③地域包括ケア病床（地域包括ケア入院医療管理料）の活用による、自宅等からの緊急入院の受入体制整備とバックベッド機能の充実       | A |
| ④訪問診療、看取りなどの在宅診療機能の強化を行い、機能強化型在宅療養支援病院の基準を維持                       | A |
| ⑤地域包括ケア病棟等の活用による在宅復帰支援<br>【数値目標】在宅復帰率 90%以上の維持                     | A |
| ⑥レスパイト目的の入院受け入れ<br>【数値目標】年間 30 件以上                                 | A |
| ⑦地域連携室や居宅介護支援事業所等による地域の医療機関等との連携<br>【数値目標】25 箇所以上の連携先と年 3 回以上の面談実績 | A |
| ⑧健康教室や出前講座などの啓蒙事業<br>【数値目標】年 4 回以上実施                               | A |
| ⑨健康維持増進に関する保健、介護（フレイル）予防事業<br>【数値目標】地域における健康維持増進事業に講師派遣を年 2 回以上    | A |
| ⑩地域包括ケアシステムに関わる者を対象とした研修会の開催<br>【数値目標】地域の医療機関・介護事業所対象の研修を年 2 回以上実施 | A |
| ⑪公式ホームページや SNS を活用し、住民との相互交流の取り組みを通じた当院の活動や役割・機能の周知                | A |

## （２）医師・看護師等の確保と働き方改革

医師・看護師等の医療従事者の確保は、持続可能な地域医療の確保、医療の質の向上、新興感染症の感染拡大時等の対応等、公立病院の機能維持・強化を図る上で必要不可欠であり、河北中央病院では、石川県が策定する医師確保計画を踏まえた医師の勤務環境の整備や、医療従事者に対する処遇改善を進めています。

具体的取り組みの個別の評価については、以下の通りです。

### ■評価基準

評価の方法は、「取組は計画どおり進捗（実施）しているか」の視点で、「A」～「C」の3段階で評価します。

| 評価 | 達成度区分 | 評価の考え方   |
|----|-------|--|
| A  | 実施中   | 取組は概ね良好で計画通り実施している。取組内容の効率化や手段に見直し等を行い、継続している。 |
| B  | 一部実施中 | 取組は実施できているが、取組の一部が遅れている、または取組の一部が未実施である。       |
| C  | 未実施   | 取組の計画策定中、または計画は完了したが取組が実施段階には至っていない。           |

### ■ 取組事項の点検・評価

| 具体的な取組事項  | 評価 |
|---|----|
| ① 医療法及び診療報酬上の必要人員数の確保                           | A  |
| ② 処遇関連の補助金や診療報酬上の処遇改善関連加算を活用した医療従事者の処遇改善        | A  |
| ③ 勤務医のタスクシフト／シェア、ICT活用による適切な労務管理の推進             | A  |
| ④ 医療情報システムの活用による情報共有、業務効率化の推進                   | A  |
| ⑤ 電子カルテ共有サービスを活用した地域のかかりつけ患者の情報共有（救急搬送時等に活用を想定） | C  |

### (3) 経営形態の見直し

令和元年、厚生労働省は市町村などが運営する公立病院と日本赤十字社などが運営する公的病院において25%超にあたる全国424病院を「再編統合について特に議論が必要」とする分析をまとめ、河北中央病院もその該当病院としてリストアップされました。

しかしながら、その後の河北中央病院の経営状況の改善や、津幡町において急性期一般病床を運営する唯一の病院であるといった地理的要因もあり、地域医療構想調整会議（令和5年1月）において「地域包括ケアシステムの中核として、質の高い医療・介護・生活支援を提供することにより、切れ目のない地域完結型医療を担う」ことで医療サービス提供の継続が求められることとなりました。

公立病院としての現行の経営体制を維持しつつ、今後も経営強化プランに基づく経営改善を進め、地域住民が安心して生活するために必要不可欠な病院としての役割を果たして参ります。

#### (4) 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取り組み

令和6年4月から始まった第8次医療計画（令和6～8年度）には、新たに「新興感染症等の感染拡大時の医療」が盛り込まれ、各公立病院は平時から新興感染症等の感染拡大時の対応に必要な機能を備えておくことが必要とされました。

河北中央病院でも、新型コロナウイルス感染症対応の経験を踏まえ、今後起こり得る新興感染症等の感染拡大時に備えた取り組みを進めています。

感染拡大用病床の確保や地域の医療機関との連携・役割分担、感染症に関する専門知識・スキルを有する人材の育成、感染防護具等の備蓄や感染予防策の徹底を充実させ、さらに感染対策BCP（Business Continuity Plan）の策定を行い、新興感染症の発生時における医療機能提供の継続を図っています。

具体的取り組みの個別の評価については、以下の通りです。

#### ■評価基準

評価の方法は、「取組は計画どおり進捗（実施）しているか」の視点で、「A」～「C」の3段階で評価します。

| 評価 | 達成度区分 | 評価の考え方   |
|----|-------|--|
| A  | 実施中   | 取組は概ね良好で計画通り実施している。取組内容の効率化や手段に見直し等を行い、継続している。 |
| B  | 一部実施中 | 取組は実施できているが、取組の一部が遅れている、または取組の一部が未実施である。       |
| C  | 未実施   | 取組の計画策定中、または計画は完了したが取組が実施段階には至っていない。           |

## ■取組事項の点検・評価

| 具体的な取組事項                       | 評価 |
|--------------------------------|----|
| ①感染拡大用病床の確保（病床転用、スペース整備）       | A  |
| ②感染拡大時における地域の医療機関との連携・役割分担の明確化 | A  |
| ③感染拡大時を想定した専門人材の確保・育成          | B  |
| ④感染防護具等の備蓄                     | A  |
| ⑤院内感染対策の徹底                     | A  |
| ⑥クラスター発生時の対応方針の共有等（感染対策BCP）    | A  |

### （５）施設・設備の最適化

地域医療を支えるに足る医療サービスを継続的に提供するには、長期的な視点で病院施設・設備の更新、新たな設備・機器への投資を行うことが必要ですが、河北中央病院においては数年後に新病院新築・移転が控えていることから、長期間使用する設備・機器の投資は必要最小限とする必要があります。

経営強化プランにおいて計画した施設・設備投資の進捗状況については次の通りです。

## ■評価基準

評価の方法は、「取組は計画どおり進捗（実施）しているか」の視点で、「A」～「C」の3段階で評価します。

| 評価 | 達成度区分 | 評価の考え方   |
|----|-------|--|
| A  | 実施中   | 取組は概ね良好で計画通り実施している。取組内容の効率化や手段に見直し等を行い、継続している。 |

|   |       |  |
|---|-------|--|
| B | 一部実施中 | 取組は実施できているが、取組の一部が遅れている、または取組の一部が未実施である。 |
| C | 未実施   | 取組の計画策定中、または計画は完了したが取組が実施段階には至っていない。     |

### ■取組事項の点検・評価

| 具体的な取組事項                           | 評価 |
|------------------------------------|----|
| ①新病院新築移転                           | C  |
| ②電子カルテ、オーダーリングシステム更新<br>※令和7年度末を予定 | A  |
| ③医事システム更新                          | A  |
| ④院内連絡網の整備（ナースコール連動型）               | C  |
| ⑤CTなど大型検査機器の更新                     | A  |
| ⑥マイナンバーカードを活用したオンライン資格確認の活用        | A  |
| ⑦情報セキュリティ対策の強化・充実                  | B  |

## (6) 経営の効率化等

経営強化プランにおける令和6年度の収支状況及び数値目標の達成状況について、次の基準により評価を行いました。

医業収益については、多くの項目で計画を上回る実績を出しており、全体的に良好な結果と言えます。経常収益は計画の1,447,317千円に対し実績は1,493,076千円となり、当初目標を大きく上回る達成率103.2%となっています。

医業収益の内訳を見ると、外来収益が計画の353,808千円を大きく上回り、実績397,631千円、達成率112.4%となっています。一方で、「入院収益」は計画をわずかに下回りましたが、達成率99.6%と概ね計画通りに推移しています。外来診療が好調であったことが全体の医業収益を牽引したと言えます。

次に費用面を見ると、経常費用が計画の1,447,317千円に対し、実績が1,461,102千円となり、増減率が101.0%とわずかに計画を上回る支出となりました。特に注目すべきは職員給与費で、計画の621,909千円に対し、実績は849,090千円、増減率は136.5%と大幅増となっています。これは、計画時に想定していなかった常勤医師2名の増員ならびに人事院勧告の改定に伴い会計年度任用職員を中心とした大幅な給与改定を行ったことによる増加分となっています。給与費の増加は今後も継続して医業収支を圧迫する要因となるため、今後の人件費管理における課題と捉えています。

医業収支については、経常損益は計画の0円に対し31,974千円と収支プラスを達成しました。これは収益が費用を上回ったことによるもので、健全な経営状況を示しています。

その他の項目では、流動資産1,355,228千円（計画比114.5%）／単年度資金収支額37,911千円（計画比211.4%）／医業収支比率96.2%（計画比103.9%）など、好調な経常収支を受けて資産の増加が見られる一方、物価高騰や委託費の上昇などによる流動負債の増加（計画比102.9%）も見られ、厳しい経営状況であることが示されています。

以上の分析から、令和6年度は外来収益等の好調により全体的な収益が計画を上回り、最終的な経常損益も黒字を確保した点で良好な結果であったと言えます。

しかしながら、昨今の全国的な賃上げ傾向は、医療従事者の確保と定着に一定の効果をもたらす一方で、公立病院における人件費の継続的な上昇は、経営の持続可能性に対する新たな課題となっています。特に、生産年齢人口

の減少が進行する中で、医療人材の確保競争は一層激化しており、地域医療の安定的な提供体制を維持するためには、単なるコスト抑制ではなく、戦略的な人材投資と業務効率化の両立が求められています。

今後は、地域の実情に即した人件費水準の見直しや、職種別の業務再設計、ICTの活用による業務負荷軽減などを通じて、限られた資源の中で最大限の医療サービスを提供できる体制構築が急務な課題です。

## ■評価基準

評価の方法は、収支状況及び各実績数値から、目標の達成について「A」～「D」の4段階で評価します。

| 評価 | 評価の考え方                    |
|----|---------------------------|
| A  | 計画と比較し、100%以上の実績であった      |
| B  | 計画と比較し、90%以上100%未満の実績であった |
| C  | 計画と比較し、80%以上90%未満の実績であった  |
| D  | 計画と比較し、80%未満の実績であった       |

## ■収支状況の点検・評価

### 収益的収支

(単位:千円、%)

| 区分                             | 項目               | 令和6年度計画     | 令和6年度決算     | 計画比       | 達成率    | 評価 |
|--------------------------------|------------------|-------------|-------------|-----------|--------|----|
| 収入                             | 医業収益             | 1,312,969   | 1,353,051   | 40,082    | 103.1% | A  |
|                                | 入院収益             | 808,110     | 804,993     | ▲ 3,117   | 99.6%  | B  |
|                                | 外来収益             | 353,808     | 397,631     | 43,823    | 112.4% | A  |
|                                | その他              | 151,051     | 150,427     | ▲ 624     | 99.6%  | B  |
|                                | うち基準内繰入金         | 49,870      | 49,870      | 0         | 100.0% | A  |
|                                | うち基準外繰入金         | 0           | 0           | 0         | -      | -  |
|                                | 医業外収益            | 134,348     | 140,025     | 5,677     | 104.2% | A  |
|                                | 他会計負担金           | 80,457      | 80,457      | 0         | 100.0% | A  |
|                                | うち基準内繰入金         | 80,457      | 80,457      | 0         | 100.0% | A  |
|                                | うち基準外繰入金         | 0           | 0           | 0         | -      | -  |
|                                | 他会計補助金           | 9,117       | 9,117       | 0         | 100.0% | A  |
|                                | 一時借入金利息分         | 0           | 0           | 0         | -      | -  |
|                                | その他              | 9,117       | 9,117       | 0         | 100.0% | A  |
|                                | 国(県)補助金          | 0           | 574         | 574       | -      | -  |
|                                | 長期前受金戻入          | 38,543      | 42,320      | 3,777     | 109.8% | A  |
|                                | その他              | 6,231       | 7,557       | 1,326     | 121.3% | A  |
| 経常収益 (A)                       | 1,447,317        | 1,493,076   | 45,759      | 103.2%    | A      |    |
| 支出                             | 医業費用             | 1,418,354   | 1,406,524   | ▲ 11,830  | 99.2%  | A  |
|                                | 職員給与費            | 621,909     | 849,090     | 227,181   | 136.5% | D  |
|                                | 基本給              | 280,028     | 710,377     | 430,349   | 253.7% | D  |
|                                | 退職給付費            | 0           | 40,260      | 40,260    | -      | -  |
|                                | その他              | 341,881     | 98,453      | ▲ 243,428 | 28.8%  | A  |
|                                | 材料費              | 190,860     | 184,490     | ▲ 6,370   | 96.7%  | A  |
|                                | うち医薬品費           | 118,800     | 118,637     | ▲ 163     | 99.9%  | A  |
|                                | 経費               | 317,850     | 298,775     | ▲ 19,075  | 94.0%  | A  |
|                                | うち委託費            | 218,432     | 208,028     | ▲ 10,404  | 95.2%  | A  |
|                                | 減価償却費            | 71,589      | 71,343      | ▲ 246     | 99.7%  | A  |
|                                | その他              | 216,146     | 2,826       | ▲ 213,320 | 1.3%   | A  |
|                                | 医業外費用            | 28,963      | 54,578      | 25,615    | 188.4% | D  |
|                                | 支払利息             | 557         | 586         | 29        | 105.2% | B  |
|                                | うち一時借入金利息        | 0           | 0           | 0         | -      | -  |
|                                | その他              | 28,406      | 53,992      | 25,586    | 190.1% | D  |
| 経常費用 (B)                       | 1,447,317        | 1,461,102   | 13,785      | 101.0%    | B      |    |
| 経常損益 (A)-(B) (C)               |                  | 0           | 31,974      | 31,974    | -      | -  |
| 特別損益                           | 特別利益 (D)         | 0           | 0           | 0         | -      | -  |
|                                | うち他会計繰入金         | 0           | 0           | 0         | -      | -  |
|                                | 特別損失 (E)         | 0           | 0           | 0         | -      | -  |
|                                | 特別損益 (D)-(E) (F) | 0           | 0           | 0         | -      | -  |
| 純損益 (C)+(F)                    |                  | 0           | 31,974      | 31,974    | -      | -  |
| 累積欠損金 (G)                      |                  | 0           | 0           | 0         | -      | -  |
| 流動資産                           |                  | 1,183,210   | 1,355,228   | 172,018   | 114.5% | A  |
| うち未収金                          |                  | 200,000     | 213,172     | 13,172    | 106.6% | A  |
| 流動負債                           |                  | 178,742     | 183,878     | 5,136     | 102.9% | B  |
| うち一時借入金                        |                  | 0           | 0           | 0         | -      | -  |
| うち未払金                          |                  | 65,000      | 63,806      | ▲ 1,194   | 98.2%  | A  |
| 翌年度繰越財源                        |                  | 0           | 0           | 0         | -      | -  |
| 当年度許可債で未借入又は未発行の額              |                  | 0           | 0           | 0         | -      | -  |
| 単年度資金収支額                       |                  | ▲ 34,033    | 37,911      | 71,944    | 211.4% | A  |
| 累積欠損比率 (G)÷医業収益                |                  | 0.0         | 0.0         | 0.0       | -      | -  |
| 医業収支比率 医業収益÷医業費用               |                  | 92.6        | 96.2        | 3.6       | 103.9% | A  |
| 地方財政法施行令第15条1項により算定した資金不足額 (H) |                  | ▲ 1,012,607 | ▲ 1,033,613 | ▲ 21,006  | 102.1% | B  |
| 地方財政法による資金不足の比率 (H)÷医業収益       |                  | ▲ 77.1      | ▲ 76.4      | 0.7       | 99.1%  | A  |
| 健全化法施行規則第16条により算定した資金不足額 (I)   |                  | ▲ 1,012,607 | ▲ 1,033,613 | ▲ 21,006  | 102.1% | B  |
| 健全化法施行規則第6条に規定する解消可能資金不足額 (J)  |                  | 0           | 0           | 0         | -      | -  |
| 健全化法施行令第17条により算定した事業の規模 (K)    |                  | 1,312,969   | 1,353,051   | 40,082    | 103.1% | A  |
| 健全化法第22条により算定した資金不足比率 (I)÷(K)  |                  | ▲ 77.1      | ▲ 76.4      | 0.7       | 99.1%  | A  |

## 資本的収支

(単位:千円)

| 区分                    | 項目                       | 令和6年度計画  | 令和6年度決算 | 計画比     | 達成率    | 評価 |
|-----------------------|--------------------------|----------|---------|---------|--------|----|
| 収入                    | 企業債                      | 30,000   | 27,100  | ▲ 2,900 | 90.3%  | B  |
|                       | 資本費平準化債                  | 0        | 0       | 0       | -      | -  |
|                       | 他会計出資金                   | 0        | 0       | 0       | -      | -  |
|                       | 他会計負担金                   | 24,793   | 24,793  | 0       | 100.0% | A  |
|                       | うち基準内繰入金                 | 24,793   | 24,793  | 0       | 100.0% | A  |
|                       | うち基準外繰入金                 | 0        | 0       | 0       | -      | -  |
|                       | 他会計借入金                   | 0        | 0       | 0       | -      | -  |
|                       | 他会計補助金                   | 0        | 0       | 0       | -      | -  |
|                       | 国(県)補助金                  | 2,750    | 2,750   | 0       | 100.0% | A  |
|                       | 工事負担金                    | 0        | 0       | 0       | -      | -  |
|                       | 固定資産売却代金                 | 0        | 0       | 0       | -      | -  |
|                       | その他                      | 0        | 0       | 0       | -      | -  |
|                       | 収入計 (a)                  | 57,543   | 54,643  | ▲ 2,900 | 95.0%  | B  |
|                       | うち翌年度へ繰り越される支出の財源充当額 (b) | 0        | 0       | 0       | -      | -  |
| 前年度同意等債で当年度借入分 (c)    | 0                        | 0        | 0       | -       | -      |    |
| 純計 (a)-[(b)+(c)] (A)  | 57,543                   | 54,643   | ▲ 2,900 | 95.0%   | B      |    |
| 支出                    | 建設改良費                    | 30,000   | 29,999  | ▲ 1     | 100.0% | A  |
|                       | うち職員給与費                  | 0        | 0       | 0       | -      | -  |
|                       | 企業債償還金                   | 53,733   | 53,733  | 0       | 100.0% | A  |
|                       | うち建設改良のための企業債分           | 53,733   | 53,733  | 0       | 100.0% | A  |
|                       | うち災害復旧のための企業債分           | 0        | 0       | 0       | -      | -  |
|                       | 他会計長期借入金返還金              | 0        | 0       | 0       | -      | -  |
|                       | その他                      | 0        | 0       | 0       | -      | -  |
|                       | うち繰延勘定                   | 0        | 0       | 0       | -      | -  |
| 支出計 (B)               | 83,733                   | 83,732   | ▲ 1     | 100.0%  | A      |    |
| 差引不足額 (A)-(B) (C)     | ▲ 26,190                 | ▲ 29,089 | ▲ 2,899 | 111.1%  | C      |    |
| 補てん財源                 | 損益勘定留保資金                 | 25,691   | 26,362  | 671     | 102.6% | A  |
|                       | 利益剰余金処分額                 | 0        | 0       | 0       | -      | -  |
|                       | 繰越工事資金                   | 0        | 0       | 0       | -      | -  |
|                       | その他                      | 500      | 2,727   | 2,227   | 545.4% | A  |
| 計 (D)                 | 26,191                   | 29,089   | 2,898   | 111.1%  | A      |    |
| 補てん財源不足額 (C)-(D) (E)  | 0                        | 0        | 0       | -       | -      |    |
| 当年度許可債で未借入又は未発行の額 (F) | 0                        | 0        | 0       | -       | -      |    |
| 実質財源不足額 (E)-(F)       | 0                        | 0        | 0       | -       | -      |    |
| 他会計借入金残高 (G)          | 0                        | 0        | 0       | -       | -      |    |
| 企業債残高 (H)             | 249,376                  | 246,278  | ▲ 3,098 | 98.8%   | B      |    |

### 3. 総評

本報告書は、公立河北中央病院の経営強化プラン（令和6年3月策定）における令和6年度の実施状況及び達成状況について、6つの視点で点検・評価を行ったものです。

令和6年度の経営強化プランの進捗状況を全体的に見ると、多くの取り組みが計画通りに進捗していることが確認されます。特に、「役割・機能の最適化と連携の強化」においては、地域包括ケアシステムの中核を担うための様々な取り組みが概ね良好に実施されています。また、「医師・看護師等の確保と働き方改革」においても、医療従事者の確保と処遇改善に向けた取り組みは順調に進められていることが確認できました。

一方で、一部の項目には遅れが見られます。例えば、「医師・看護師等の確保と働き方改革」において、電子カルテ共有サービスを活用した地域のかかりつけ患者の情報共有は今後の課題となっている他、「施設・設備の最適化」においても新病院新築移転や院内連絡網の整備が未実施となっており、これら主要な投資案件については、計画策定中または実施段階に至っていない状況となっています。

経営状況に関しては、医業収益が計画を上回り、特に外来収益が好調であったことにより、経常損益は黒字を達成するなど良好な結果を残しています。しかしながら経常費用は計画をわずかに上回り、特に職員給与費が大幅に増加している点が課題として挙げられます。これは当院に限らず人件費の高騰を診療報酬に転嫁できない医療機関全体での大きな課題となっており、物価高騰対策と併せてコスト削減策が必要不可欠となっています。

全国自治体病院協議会の令和6年度決算速報値によれば、公立病院の86%が赤字となっており、また民間病院においても、多くが業績を悪化させている中、当院が増収かつ経常収支プラスを確保できたことは高く評価されるべきものであり、地域密着型病院としての役割を果たし、持続可能な医療提供体制を確保するため、経営強化プランに基づき、引き続き経営改善を進めていくことが重要と考えます。

以 上